

# 魚にのみこまれたヨナ

ヨナ1章～4章

1. ( ) に正しいことばを入れてね。

神さまはヨナに、「あの大きな町（ニネベ ・ タルシシュ）に行け」と言われた。しかしヨナは、船に乗って（戦おう ・ 逃げよう）とした。その時、海に激しい暴風が起こり、船が（難破 ・ 世界一周）しそうになった。それがヨナのせいだとわかった時、人々はヨナをかかえて（胴上げした ・ 海に投げ込んだ）。すると、海は激しい怒りをやめて静かになった。主は大きな（タコ ・ 魚）を備えて、ヨナをのみこませた。

2. ヨナは魚のお腹の中で何をしましたか？



3. ヨナが何の苦勞もせず得た1本のとうごまを惜しんで怒りました。そのとき、神さまがヨナに教えたことは何ですか？（10～11節）

4. ヨナのお話から、神さまのご性質について、どんなことがわかりますか？  
正しいと思うもの3つに○をしてね。

神さまは・・・

- ( ) 人間を見張っていて、悪いことをする人を、すぐに滅ぼしてしまう
- ( ) 人間を見守っていて、罪を悔い改めるまで、かなり忍耐してくださる
- ( ) 悪者がどんなに悔い改めても赦さないけど、立派な人を愛してくださる
- ( ) どんな悪者でも差別せず、みんなを救いたいと願ってくださる
- ( ) ヨナのように一度逃げ出したり失敗した人を、見捨ててしまう厳しいお方
- ( ) 大きな魚をあやつったり、植物を1日で大きくしたりできる
- ( ) 大きいから、ちっぽけな人間の命のことなんて、なんとも思わない